眞嶋(眞崎)翔 MASAKI Sho

教員の教育・研究活動報告			
役職／職名	准教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	まさき しょう	生年	
学歴	シンシナティ大学留学 （2007～2008年） 名古屋外国語大学外国語学部英米語学科 卒業 （2009年） ウェスタン・イリノイ大学大学院歴史学部修士課程 修了 （2011年） 名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程 修了 （2015年）		
学位	修士（歴史学） 「2011年 ウェスタン・イリノイ大学」 博士（国際開発学） 「2015年 名古屋大学」		
研究分野	歴史学 小笹原 国際関係論		
研究テーマ	日米関係史 小笹原の戦後史		



主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
「核双生の沖縄問題へ：小笹原返還の政治史」	単	2017年4月	名古屋大学出版会	
「小笹原諸島における1968年：施政権返還後の父島と硫黄島の変遷」 藤本博編著『「1968年」再訪－「冷代の転換期」の編制』	共	2018年10月	行路社	
「沈むべき「戦後」：硫黄島遺骨問題に関する一考察」 長崎暢子編著『日本ネシア論：島から見える日本の位相』	共	2019年6月	風響書店	
「核実験王国M島：語られた「真実」、語られなかった「真実」」 日本平和学会編『戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー』	共	2020年10月	法律文化社	
「小笹原諸島年表」 長嶋俊介、渡辺孝雄監修・編著『新版日本の島辞典』	共	2022年12月	三交社	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
「日米関係における小笹原返還交渉の意義」	単	2013年5月	「小笹原研究」 第3号（跡都大学東京）1～51頁	
"The Political Significance of the Reversion of the Bonin Islands: A Successful Concession to a Territorial Dispute"	単	2013年12月	Nanzan Review of American Studies, vol. 35 （南山大学） 1～26頁	
「米国の核戦略に組み込まれた小笹原諸島」	単	2014年3月	「現在社アメリカ研究」 第50号（現在社大学） 47～68頁	
「小笹原の占領と返還をめぐる国際看と革命の対立の構図」	単	2014年5月	「小笹原研究」 第4号 （跡都大学東京）11～44頁	
「戦後日本関係を検証した核実験戦没者遺骨収集事業の変遷」	単	2016年5月	「小笹原研究年報」 第39号（跡都大学東京小笹原研究会発会）21～36頁	
「小笹原返還交渉の立ての沖縄返還交渉」	単	2017年2月	「島嶼研究」 第18号第1巻（日本島嶼学会）15～16頁	
「新たな駐安保枠に基づく日米核土返還交渉史の再理解」	単	2025年2月	「国際開発研究フォーラム」 第55号（跡都記念号） （名古屋大学）27～42頁	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
"The Historical Value of the Restoration of the Bonin Islands in the Context of the American Security Strategy in the Far East"	単	2012年7月	現在社アメリカ研究跡都セミナー（OASSS）国際大学現在セミナー研究総告、現在社大学びたこけリートセンター	
「日米関係における小笹原返還交渉の意義」	単	2013年1月	第211回名古屋アメリカ研究会1月作会、南山大学名古屋キャンパス	
"An Account of Mystery Bases in the Pacific: The Bonin Islands and U.S. Nuclear Strategy"	単	2013年9月	アメリカ研究者の集い2013、国際文化会館	
「核実験被災者遺骨収集事業の変遷にみる日米関係」	単	2014年4月	第216回名古屋アメリカ研究会4月作会、南山大学名古屋キャンパス	
「『他種ナカリシ骨世ムト欲ス：核密約の真実』 の再考－原爆被没後20年に寄せて－」	単	2016年4月	第222回名古屋アメリカ研究会4月作会、南山大学名古屋キャンパス	
"Can American Studies Stand Alone and Is it Stand-alone?"	単	2016年7月	南山大学アメリカ研究センター40周年記念シンポジウム「日本における アメリカ研究の歴史、現状、未来」、南山大学名古屋キャンパス	シンポジウムにおける口頭発表
「核双密ナカリシ骨世ムト欲ス：核密約の真実」 の再考－原爆被没後20年に寄せて－」	単	2017年10月	冲航研究会第39回例会、東京大学駒場キャンパス	書評会の基調講演
「核双密ナカリシ骨世ムト欲ス：小笹原返還の政治史」	単	2018年3月	第222回名古屋アメリカ研究会3月作会、南山大学名古屋キャンパス	書評会
"Forgotten People of Iwo Jima" : A Study on the Post-World War II History of Iwo Jima Islanders in the Context of the U.S.-Japan Security Relations"	単	2018年4月	Organization of American Historians: 2018 OAH Annual Meeting, Sacramento Convention Center	
「小笹原『返還50周年』が意味すること：1968年以降の父島と硫黄島の歩み」	単	2018年9月	2018年日本島嶼学会年次大会・法政大学市ヶ谷キャンパス	学会設立20周年の記念講演
「日米関係における小笹原の特殊性と普遍性」	単	2019年3月	日本島嶼学会設立20周年記念小笹原土ニシンポジウム、小笹原村地域福祉センター	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
英米語学科リーディングチーム メンバー	2019年4月～	
英米語学科リーディングチーム Intensive Reading 1,2 コーディネーター	2019年4月～2020年9月	
学部図書委員	2019年4月～2024年3月	
メディア情報教育センター運営委員	2019年4月～2022年3月	
教育改革推進室 世界教養プログラム部会 メンバー	2019年4月～2020年3月	
英米語学科リーディングチーム 副言語プログラム コーディネーター	2020年4月～2025年3月	
教養教育推進センター 世界教養プログラム メンバー	2021年4月～	
キャリア教育関係委員	2022年4月～2025年3月	
学生厚生委員	2024年4月～	
留学アカデミックサポート	2025年4月～	
英米語学科国際社会系コーディネーター	2025年4月～	
英米語学科リーディングチーム Extensive Reading 1,2 コーディネーター	2025年4月～2026年3月	

主な職務上の業績

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動地域名
硫黄島航空墓参団募集・提案平成25年度第4回特別派遣団員	2014年2月	政府派遣（TV,USA公聴会）
名古屋アメリカ研究会幹事（会長・会計）	2014年4月～2018年6月	名古屋アメリカ研究会
名古屋大学大学院国際開発研究科 公開講座外部講師	2017年10月	名古屋大学大学院国際開発研究科
愛知サマーセミナー2025 講師	2025年7月	愛知サマーセミナー

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
名古屋アメリカ研究会　日本島嶼学会　アメリカ学会　日本アメリカ史学会　Organization of American Historians

所属学会役員歴等

所属学会及び役職名	期間（年月）	備考
日本島嶼学会　理事	2023年11月～	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
2014年4月～2019年9月	金城学院大学　非常勤講師	
2015年4月～2017年3月	名城大学　非常勤講師	
2015年9月～2017年3月	南山大学　非常勤講師	
2015年9月～2019年3月	名古屋外国語大学学部講師	
2015年12月	名古屋大学アジアサテライトキャンパス学術非常勤特任助教	
2016年1月～2016年9月	名古屋大学アジアサテライトキャンパス学特任助教	
2016年4月～2016年10月	NHK文化講座　講師	
2016年4月～2019年3月	名古屋外国語大学　非常勤講師	
2016年11月	名古屋大学大学院国際開発研究科　外部講師	
2017年4月～2018年3月	名古屋大学大学院国際学研究科　博士研究員	
2017年4月～2020年3月	南山大学アメリカ研究センター　客員研究員	
2019年4月～2020年3月	跡都大学東京小笹原研究委員会　客員研究員	
2017年4月～2018年3月	岐阜聖徳学園大学　非常勤講師	
2018年4月～2019年3月	名古屋大学大学院国際開発研究科　特任助教	
2019年4月～2025年3月	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科　講師	
2025年4月～	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科　准教授	

受賞学術賞

受賞事項	年月	備考
名古屋大学学術奨励賞　受賞	2014年7月	
名古屋大学出版会学術図書刊行助成　論定	2016年6月	
日本島嶼学会研究奨励賞　受賞	2017年9月	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（区分※）	年度	備考
日米協会　米国研究助成プログラム2013	「小笹原返還をめぐるジョンソン政権における議論の研究」	日米協会	2013年	研究内容から研究課題を推付け
アメリカ研究振興会　国内フェローシップ	「小笹原返還の背景となった米国の核軍安全保障政策の変容に関する研究」	アメリカ研究振興会	2013年	研究内容から研究課題を推付け
日米協会　米国研究助成プログラム2014	「小笹原統『返れ』をめぐるジョンソン政権における議論の研究」	日米協会	2014年	研究内容から研究課題を推付け

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
日本・世界理解の方法　アメリカ社会1・2　アメリカ社会研究1・2　Intensive Reading 英語圏社会のしくみ　3年ゼミ・4年ゼミ　歴史学の学び方	外国語学部